

# より適切なかかわりをするためのチェックポイント

## —意識しよう 気づこう 子どもたちの思い—

私たちは、「乳児院倫理綱領」に子どもたちの幸福<sup>しあわせ</sup>を実現するための拠りどころを定めました。子どもたちにより適切に接するため、意識すべきことを具体的に掲げ、養育向上に努めます。

### 1. 子どもたちへ

- 一人ひとりを大切に、人として対等に受けとめます。  
\*一人ひとりの大切なのちと人権、人として子どもたちを大人と対等な存在として受けとめます。
- 一人ひとりに、せいりっぱい愛情をそそぎます。  
\*やさしく、あたたかく。一人ひとりに愛情をもって接します。
- 一人ひとりの子どもの視点に立ち、ものごとを受けとめ代弁します。
- あいさつを交わし、いつもやさしいまなざしで成長を見守ります。  
\*あいさつは生活の基本、お互いに元気をもらいあいます。一人ひとりの成長を喜び、いつも見守っていることが伝わるように努めます。
- ミルクを飲むときは、心地よく飲んでもらえるようにします。  
\*目と目をあわせ、抱きあげてやさしく話しかけながら、抱っこが苦手な子は好みにあわせて気持ちよく。
- 泣いたとき、訴えているとき、不安なとき、寂しいとき、思いをしっかりと感じて応えます。  
\*抱きしめます。やさしく語りかけます。子どもたちが求めていることを汲みとって応えます。
- 呼ばれたら、必ず返事をします。  
\*子どもたちの出すサインに的確に応えます。
- いつも清潔に安全に過ごせるように、気を配ります。  
\*思いきり遊んで汚れてもいい。うんちもおしっこも出たらすっきり。汚せる安心感も爽快感も伝えます。環境面の清潔さと安全性も心がけます。
- ことばで伝えられない気持ちを感じて、つながりあえるよう心がけます。  
\*乳児院で生活する不安な気持ちを安心に替えたい。気持ちを受けとめ、ともに感じながら、ときにはことばで伝えられるよう働きかけます。
- 大きな声や音でこわい思いをさせないように、気をつけます。  
\*大声を出す心地よさや大きな声で歌う楽しさも伝えます。危険を感じた場合は大きな声で止めることもあります。
- 絶対に叩いたりつねったりしません。
- あとでねと約束したことは守ります。  
\*もし約束が守れないときには、必ず子どもたちに謝ります。
- からだの調子がわるいときには、やさしく看護します。  
\*子どもたちの体調にはつねに気を配ります。安心して休めるようそばにいます。
- おうちに帰るときや新しいおうちへ行くときは、安心して行けるようみんな準備します。
- 新しいおうちからあそびにきたときは、いつでも温かく迎えます。

### 2. 保護者の皆さん、里親の皆さんへ

- 私たちは、「乳児院倫理綱領」と、それぞれの乳児院が定める規範などを意識し、子どもたち一人ひとりがかげがえのない存在として、愛情をもって接します。
- 皆さんと子どもたちを、いつでも温かくお迎えします。  
\*乳児院での生活など、分かりやすく説明します。
- 皆さんとともに子どもたちの成長を喜び、見守り、養育について考え続けます。

### 3. 仲間どうして

- 互いに補いあい、子どもたちが穏やかに過ごせる環境づくりに努めます。  
\*養育のこと、子どもとの関わりのこと、一人で悩まずに、仲間に相談します。
- 互いに学びあう姿勢を心がけます。  
\*チームワークを大切にします。
- 自己研鑽、職場内(外)研修で、より一層の向上をめざします。

